

中小企業景気動向調査結果

(2020年1月～3月期)

上毛町商工会

このレポートは、福岡ひびき信用金庫が四半期ごとに発表する「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」を上毛町商工会が簡易に取りまとめたものです。

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計	回答率%
調査対象企業数	63	26	52	19	43	28	231	100.0
回答企業	63	26	52	19	43	28	231	

景況天気図

・前期：2019年10～12月期 ・今期：2020年1～3月期 ・見通し：2020年4～6月期



	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期	☁	☁☀	☁☀	☁☔	☁	☀	☁☀
今期	☁	☁	☁	☁☔	☁	☀	☁☀
見通し	☁	☁	☁	☁☔	☁	☀	☁

(この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました)

業種別業況(今期と前期の比較)

	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
業況	↘	↘	↘	↘	↗	↘	→
売上額	↘	↘	↘	↘	↗	↘	↗
収益	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↗
雇用	→	↗	↗	↘	↗	↘	↘

良くなっている



悪くなっている

総合：業況は大幅に下降。収益面も改悪。人手不足感は若干解消。
 製造業：業況は大幅に下降。人手不足感はやや改善するも厳しさは続く。
 卸売業：業況は大幅な悪化。売上・収益ともに同じく大幅に悪化。
 小売業：業況は大幅な悪化。売上・収益ともに同じく大幅に悪化。
 サービス業：業況はほぼ横ばい。売上改善するも収益は低下。人手不足感は改善。
 建設業：業況は若干下降。人手不足感の厳しさは変わらず。
 不動産業：業況はほぼ横ばい。人手不足感はやや悪化。

地域別天気図

<信金中央金庫「中小企業景況レポート 2020.1～3月期」を転用>

【地域別天気図（今期分）】

地域 業種名	北海道	東北	関東	首都圏	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州北部	南九州
総合											
製造業											
卸売業											
小売業											
サービス業											
建設業											
不動産業											

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調

特別調査 <外国人・海外情勢と中小企業>

Q1：貴社を取り巻く事業環境や地域社会の中で、外国の方と接触が増えているという実感はありますか。

回答：変わらない (79.6%) 増えている (15.0%) 非常に増えている (2.7%)
減っている (1.3%) 非常に減っている (1.1%)

Q2：貴社では、外国人労働者を雇用していますか。雇用している方は、従業員全体に占める外国人労働者の割合をお答えください。

回答：雇用する予定なし (88.1%) 10%未満 (5.4%) 10～20% (2.5%)
雇用する予定あり (2.0%) 50%以上 (0.9%) 20～30% (0.5%)
30～40% (0.3%) 40～50% (同)

Q3：貴社では、売上全体に占める外国人、もしくは外国企業向けの売上げはどのくらいですか。

回答：外国向けの売上げはない (90.0%) 10%未満 (8.2%) 10～20% (0.6%)
20～30% (同) 40～50% (同)

Q4：貴社では、外国向けの売上げを増加させるための取組みを行っていますか行っている企業は、特に行っている取組みについてお答えください。

回答：国内だけで十分な売上げがある (62.4%) 何をすればいいのかわからない (19.1%) 資金面で余裕がない (6.9%) その他 (5.2%) 人材不足 (3.6%) ネットや広告による情報発信 (1.7%) 営業力の強化 (0.5%)
製品・商品・サービス面の開発強化 (0.3%) 海外拠点の設置・強化 (同)

Q5：貴社では、経営上、特に注目している海外情勢はありますか。3項目以内でお答えください。

回答：影響ある海外情勢はない (52.4%) 米中貿易摩擦 (24.6%) 日中関係 (23.6%) アメリカ経済・大統領選挙 (16.6%) 日韓関係 (11.2%)
中東情勢 (3.9%) その他 (3.7%) イギリスのEU離脱 (1.4%)
北朝鮮問題 (0.6%)

(「ひびしん 中小企業景気動向調査結果」より、抜粋しました。)